

元氣のヒント

◁28▷



大川 勝正

徽县大学病院
形成外科・美容外科

「どうして持てゐるなら。」
この願いは多くの人が持っており、年齢を重ねるほど強くなつていきます。近年「アンチエイジング」といふ言葉が盛んに使われるようになってきました。日本語なら「抗老」や「抗加齢」。時計の針を止めることではなく、その進むのを遅くせよ、やむを得ない。

人間は加齢とともに、身体
のさまざまな部分が老化して
いきます。肌も年齢によって
その姿を変えていきます。赤
ちゃんのときが最も美しく、
柔らかく、ハリのある健康な
肌をしています。加齢ととも
に、通常は30代から、肌の
健康を保つ能力が失われ始め
ます。具体的には、コラーゲ
ンの減少による弾力性の低

しみやしわ

IPL治療に脚光

予防は日ごろの手入れで

いのが最も重
要です。「案
外線予防」に

はじまり、「*catch on*」だった過度の刺激を与えないこと、ストレスを避けて規則正しい生活することなど、日ごろの手入れが重要となります。

しかし、手入を十分にしていなくても、しみやしわを完全に防げるわけではありません。で、進んでしまったしみやし

わが対して、われわれ形成外科医や、皮膚科医、美容外科

下、再生力や保溫力の衰えなどが挙げられます。

さらに、日光、ストレス、環境による影響、喫煙などのダメージで悪化し、その結果、肌は固く乾燥して、しみやしわのある肌となります。

しみやしわの治療にはさまざまな方法がありますが、まずすべきなのは予防することです。

手術以外のしみ・しわの治療方法の例

治療方法	治療の対象
Qスイッチレーザー	平らなしみ（老人性色素斑）
炭酸ガスレーザー	年寄りイボ（脂漏性角化症）
光治療	薄いしみ・そばかす・くすみ ・赤ら顔・細かいしわ
ボトックス注射	眉間の縦じわなどの表情じわ
ヒアルロン酸注入	ほうれい線などの深いしわ
ケミカルピーリング	くすみ・細かいしわ・ニキビ
トラネキサム酸内服	肝斑
ハイドロキノン外用	美白・しみの予防

が重要で、安易なレーザーの
使用は禁じます。

しわの治療も、手術を含めていろいろな方法があります。が、一般的なのは、ボトックスの注射や、「コラーゲン」やヒアルロン酸などの注入療法です。ボトックスは筋肉の動きを麻痺させることで、表情を作るのにできぬしわを改善させます。「コラーゲン」やヒアルロン酸は、ほぐれい線などの深いしわに対して注入し、しわを目立たなくさせます。さらに最近では、加齢によつてまぶたが下がる「眼瞼下垂」の手術も増えてきていま

こうした治療は、簡単に万
能であるかのように考えられ
がちですが、誰にでも一様に
効果があるわけではなく、し

みの悪化や、
けと、出血斑
などの副作用
が出る場合も

あります。これらの治療を複
合的に組み合わせ、個々の患
者さんに対して最適な治療を
していただくのが大切です。

徳島大学病院では2年前に「美容センター」を設立しました。美容医療に関しては自費となりますが、それぞれの患者さんに合わせて、日ごとのケアを含めたカウンセリングのケアを含めたカウンセリングを行います。

グ・美容治療を専門に行っています。